

研究概要

東京工業大学、広島大学、東京理科大学、
徳山高専、マクセル株式会社

歩留まり改善・高効率

テラヘルツ帯の モジュール開発

先生のご専門

電気電子工学



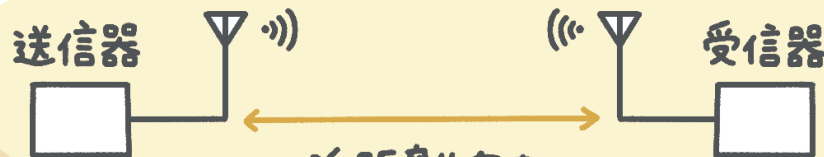
イ サン ヨブ
李尚晔氏

東京工業大学

科学技術創成研究院

1 テラヘルツ帯
コヒーレントトランシーバ開拓
→ 低消費電力化・高効率化

2 マイクロアクチュエータによる
モジュール性能改善
→ 機械誤差の補正



(例)
ブルレイ級の
映画をスマホで
受信可能
大容量通信

通信速度 現状の1000倍以上を想定



妨害電波



300GHzのみならず
不要な電波が放射される

3 アンテナカバーの改良

通信信号が透過しやすい素材・構成

★EMI, EMC対策

→ 広帯域電波
吸収体が必要

Q. 誰向けの研究?

テラヘルツ帯の
システム構築をする組織

Q. 研究を始めたきっかけ

実用化に向けた
課題を見つけたこと

反射をおさえるには、
電波吸収体が必要!

Q. 研究を社会実装させ、
どんな世界を目指したい?

いつでもどこでも
大容量高速通信ができる世界

THz



Health